

## 横須賀線車両故障について

2009年5月7日

東日本旅客鉄道株式会社

本日、6時50分ごろ、横須賀線横浜～新川崎において車両故障が発生し、多くのお客さまにご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

今回のトラブルの原因については、その後車両基地内で調査した結果、車両の非常ブレーキに関わる回路の断線により非常ブレーキがかかったままの状態となったことが判明しました。車両の一斉点検を実施し、同種故障の再発防止に向けて取り組んでまいります。

概要につきましては、以下のとおりです。

当該列車564Sは、横浜～新川崎走行中、非常ブレーキが自動的にかかり停車しました。非常ブレーキがかかったままの状態のため、車両の調査とともに、非常ブレーキを強制的に緩ませる応急処置を行いましたが、非常ブレーキが緩みませんでした。

このため、非常ブレーキに関わる回路の調査、処置を実施し、9時すぎに非常ブレーキが緩んだことから、9時26分に運転を再開しました。

車両の処置に長時間見込まれることから、後続の574S（約3000名乗車）と1600E（約3000名乗車）については、お客さまに降車いただくこととし、それぞれ鶴見駅までご案内いたしました。

当該列車564S（約3000名乗車）についても、お客さまに降車いただく準備をしていたところ、係員による車両の処置が完了したことから、そのままご乗車いただきました。